

JICA草の根技術協力事業

ミャンマーからの研修団が配置薬の富士薬品を視察

国際協力機構(JICA)は、富山県、富山大学和漢医薬学総合研究所とともに、JICA 草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)「ミャンマーにおける伝統医薬品の製造管理及び品質管理の改善を通じた保健衛生向上事業」を実施しています。現在、6月2日～6月26日の日程で、ミャンマー国で伝統薬製造に携わる技術者や伝統医療局関係者らからなる研修団11名を招き、富山県内にて講義や製薬会社工場見学等を通して伝統薬の製造や品質管理の技術、富山発祥の配置薬システム等について学ぶ研修を実施しています。(添付:研修団スケジュール)

※第1陣として技術者4名が6月2日～6月14日の日程で県内において講義などの研修に参加しました。

第2陣として伝統医療局等から行政関係者7名が6月17日～26日の日程で来県し、第1陣と合流して研修、シンポジウムに参加します。

第3陣として食品医薬品局から3名が6月22日～26日の日程で来県し、第1、2陣と合流しシンポジウムに参加します。

今般、ミャンマー研修団一行が、富山県を代表する製薬会社である『株式会社富士薬品』を訪問し、富士薬品の取り組みや配置薬について見学します。つきましては、以下のとおり取材していただきましたら幸いです。

1. 日時: 2018年6月21日(金) 10:00~11:00
2. 場所: 株式会社富士薬品
(富山県富山市婦中町増田 41)
3. 内容: 会社説明
会社概要、配置薬説明など

***なお、取材いただく際は、写真撮影等につきましては、富士薬品ご担当者様の指示に従って頂きますようお願いいたします。**

【本件に関する問い合わせ先】

◆ (独) 国際協力機構北陸センター (JICA 北陸)
北川 涼子 (草の根技術協力事業担当)

TEL 076-233-5931 E-mail : Kitagawa.Ryoko@jica.go.jp

JICA 草の根技術協力事業は、国際協力の意志を持つ NGO、大学、地方自治体等の団体による開発途上国の地域住民を対象とした協力活動を、JICA が政府開発援助（ODA）の一環（注：JICA の委託事業）として促進する事業です。

当機構は、SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成のために力を入れて取り組んでおり、本案件は、SDGs 目標3の“すべての人に健康と福祉を”を主な目標に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

